

## 取扱いの趣旨

涙嚢鼻腔吻合術又は涙小管形成手術に対するブジー付の涙液・涙道シリコンチューブについては、原則として認められない。

## 支払基金が公表している取扱いの全文

【手術】 《平成29年4月24日》

7 K204涙嚢鼻腔吻合術又はK206涙小管形成手術における涙液・涙道シリコンチューブの取扱いについて

### ○ 取扱い

K204涙嚢鼻腔吻合術又はK206涙小管形成手術に使用した涙液・涙道シリコンチューブについては、平成28年3月4日付け保医発0304第7号「特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について」の(12)に「ブジー付チューブは、涙嚢鼻腔吻合術又は涙小管形成術に使用した場合は算定できない。」と記載されていることから、算定を認めない。

### ○ 取扱いを作成した根拠等

平成28年3月4日付け保医発0304第10号「特定保険医療材料の定義について」の023涙液・涙道シリコンチューブの定義に「薬事法承認又は認証上、類別が「機械器具(51)医療用嘴管及び体液誘導管」であって、一般的名称が「涙液・涙道シリコンチューブ」又は「ヘパリン使用涙液・涙道シリコンチューブ」であること。」と示されている。

シラスコンN-Sチューブについては、薬事法承認又は認証上において、「機械器具(51)医療用嘴管及び体液誘導管」であって、「涙液・涙道シリコンチューブ」に分類されるため、別途算定を認めない。

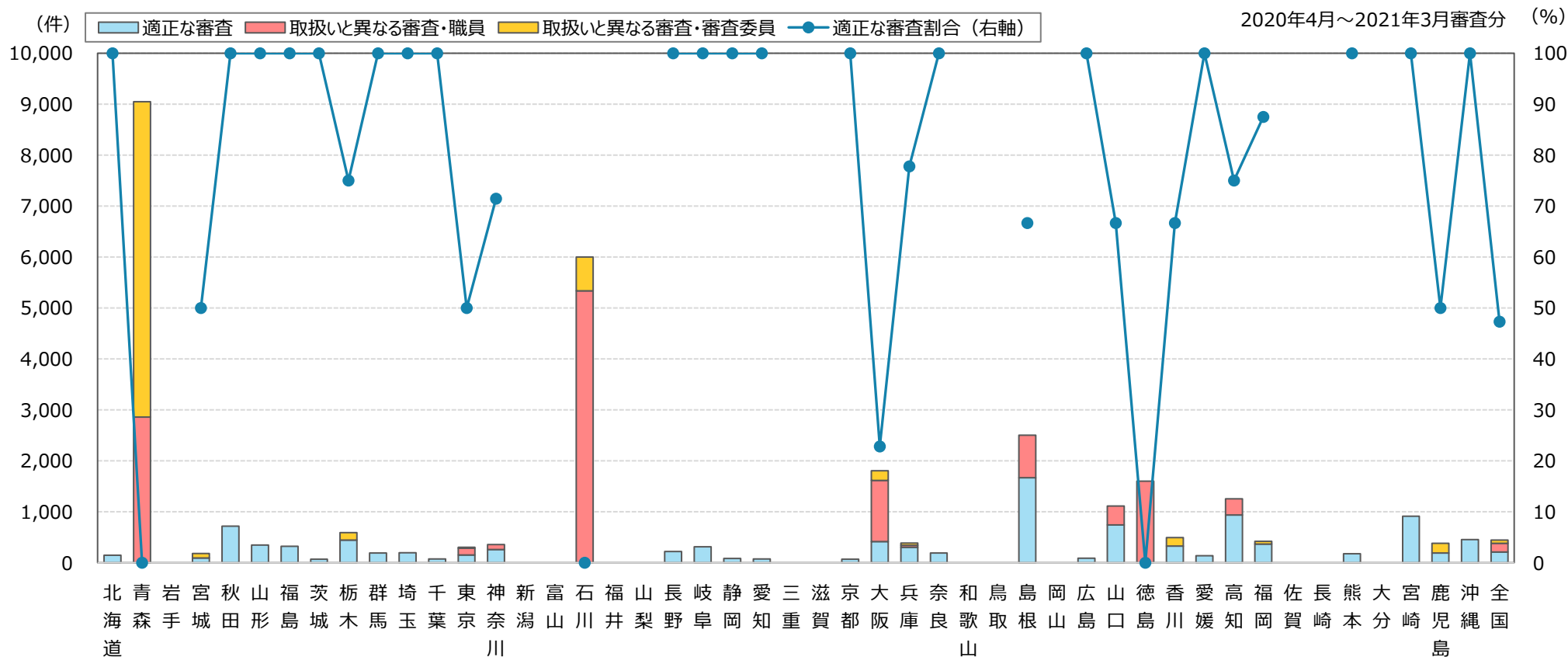
## グラフの見方

### 1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

涙液・涙道シリコンチューブを算定しているレセプト1万件当たり、条件（同日に涙液・涙道シリコンチューブと涙嚢鼻腔吻合術又は涙小管形成術を算定）に該当するレセプト件数

### 2 折れ線グラフ

検証の結果、適正な審査をしている割合（全国 47.28%）



【該当件数】 同日に涙液・涙道シリコンチューブと涙嚢鼻腔吻合術又は涙小管形成術を算定しているレセプト件数

## 検証結果及び対応状況

検証観点	特に検証を要する支部	備考
①査定・返戻割合が低い支部	青森、石川、徳島、宮崎、鹿児島、大阪、高知	査定・返戻割合の低い順
②請求どおり・職員	石川、青森、徳島、大阪、宮崎、島根、高知	対象1万件当たり件数の多い順
③請求どおり・審査委員	青森、石川、鹿児島、高知、大阪、香川、栃木	〃

### ○特に検証を要する支部の評価及び対応状況

#### ①査定・返戻割合が低い支部

【適正な審査割合：100%】

■ 宮崎

【適正な審査割合：100%未満】

■ 青森、石川、徳島、鹿児島、大阪、高知

#### ②請求どおり・職員が多い支部

【取扱いと異なる審査：なし（適正な審査）】

■ 宮崎

【取扱いと異なる審査：あり】

■ 石川、青森、徳島、大阪、島根、高知

#### ③請求どおり・審査委員が多い支部

【取扱いと異なる審査：なし（適正な審査）】

■ 高知

【取扱いと異なる審査：あり】

■ 青森、石川、鹿児島、大阪、香川、栃木

### ■①から③を通して、適正な審査と判断した主な理由

請求どおりと判断したレセプトの多くは、涙嚢鼻腔吻合術又は涙小管形成手術とは左右異なる器官に実施した手術に対して涙液・涙道シリコンチューブを使用しており、適正な審査と判断したもの ⇒対応なし

：職員及び審査委員の認識誤り（取扱いの失念、不知等）

⇒上司の教育及び審査委員長から連絡・再周知により是正

→青森、石川、徳島、鹿児島、高知は概ね改善(R5.1現在)

→大阪は改善状況不十分、再度、上司から教育指導及び審査委員長から周知徹底(R5.1現在)

：職員の認識誤り（取扱いの失念、誤解等によるCCの解除）

⇒上司の教育により是正

→石川、青森、徳島、島根、高知は概ね改善(R5.1現在)

→大阪は改善状況不十分、再度、上司から教育指導(R5.1現在)

：審査委員の認識誤り（取扱いの不知等により医学的判断を誤ったもの）

⇒審査委員長から連絡・再周知により是正

→青森、石川、鹿児島、香川、栃木は概ね改善(R5.1現在)

→大阪は改善状況不十分、再度、審査委員長から周知徹底(R5.1現在)

## 該当件数に対する検証結果

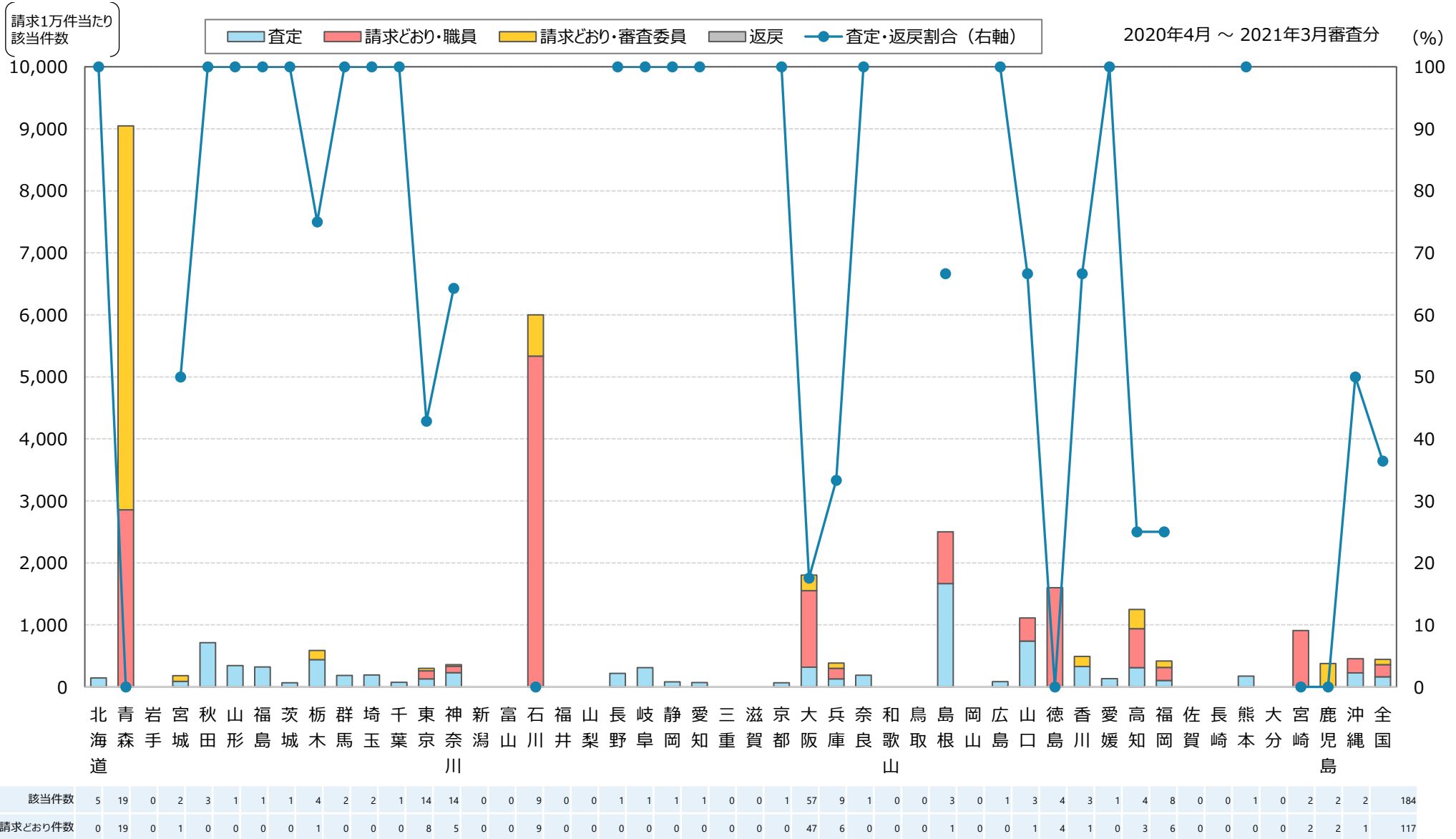
検証の結果、該当件数184件のうち、**87件（47.28%）が適正な審査結果（検証前は36.41%）**  
**CCの解除等による誤処理が97件（52.72%）**

⇒概評：請求どおり（117件）を検証の結果、適正審査と確認されたレセプトは、涙嚢鼻腔吻合術又は涙小管形成手術とは左右異なる器官に対して、涙液・涙道シリコンチューブを必要とした事例であった。

支部	検証結果										
	該当件数 計	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （CC解除等の誤処理）			
		適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			請求どおり	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
				査定	返戻	査定 返戻 計					
01 北海道	5	5	100.00%	5	0	5	0	0	0.00%	0	0
02 青森	19	0	0.00%	0	0	0	0	19	100.00%	6	13
03 岩手	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
04 宮城	2	1	50.00%	1	0	1	0	1	50.00%	0	1
05 秋田	3	3	100.00%	3	0	3	0	0	0.00%	0	0
06 山形	1	1	100.00%	1	0	1	0	0	0.00%	0	0
07 福島	1	1	100.00%	1	0	1	0	0	0.00%	0	0
08 茨城	1	1	100.00%	1	0	1	0	0	0.00%	0	0
09 栃木	4	3	75.00%	3	0	3	0	1	25.00%	0	1
10 群馬	2	2	100.00%	2	0	2	0	0	0.00%	0	0
11 埼玉	2	2	100.00%	2	0	2	0	0	0.00%	0	0
12 千葉	1	1	100.00%	1	0	1	0	0	0.00%	0	0
13 東京	14	7	50.00%	6	0	6	1	7	50.00%	6	1
14 神奈川	14	10	71.43%	9	0	9	1	4	28.57%	4	0
15 新潟	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16 富山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17 石川	9	0	0.00%	0	0	0	0	9	100.00%	8	1
18 福井	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19 山梨	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20 長野	1	1	100.00%	1	0	1	0	0	0.00%	0	0
21 岐阜	1	1	100.00%	1	0	1	0	0	0.00%	0	0
22 静岡	1	1	100.00%	1	0	1	0	0	0.00%	0	0
23 愛知	1	1	100.00%	1	0	1	0	0	0.00%	0	0
24 三重	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

支部	検証結果										
	該当件数 計	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （CC解除等の誤処理）			
		適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			請求どおり	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
				査定	返戻	査定 返戻 計					
25 滋賀	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
26 京都	1	1	100.00%	1	0	1	0	0	0.00%	0	0
27 大阪	57	13	22.81%	10	0	10	3	44	77.19%	38	6
28 兵庫	9	7	77.78%	3	0	3	4	2	22.22%	1	1
29 奈良	1	1	100.00%	1	0	1	0	0	0.00%	0	0
30 和歌山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
31 鳥取	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
32 島根	3	2	66.67%	2	0	2	0	1	33.33%	1	0
33 岡山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
34 広島	1	1	100.00%	1	0	1	0	0	0.00%	0	0
35 山口	3	2	66.67%	2	0	2	0	1	33.33%	1	0
36 徳島	4	0	0.00%	0	0	0	0	4	100.00%	4	0
37 香川	3	2	66.67%	2	0	2	0	1	33.33%	0	1
38 愛媛	1	1	100.00%	1	0	1	0	0	0.00%	0	0
39 高知	4	3	75.00%	1	0	1	2	1	25.00%	1	0
40 福岡	8	7	87.50%	2	0	2	5	1	12.50%	0	1
41 佐賀	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
42 長崎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
43 熊本	1	1	100.00%	1	0	1	0	0	0.00%	0	0
44 大分	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
45 宮崎	2	2	100.00%	0	0	0	2	0	0.00%	0	0
46 鹿児島	2	1	50.00%	0	0	0	1	1	50.00%	0	1
47 沖縄	2	2	100.00%	1	0	1	1	0	0.00%	0	0
全国	184	87	47.28%	67	0	67	20	97	52.72%	70	27

【参考・検証前】事例7 涙嚢鼻腔吻合術又は涙小管形成手術における涙液・涙道シリコンチューブの取扱い【認めない事例】



【該当件数】 同日に涙液・涙道シリコンチューブと涙嚢鼻腔吻合術又は涙小管形成術を算定しているレセプト件数